

ぼくの、じゅうのせかい

7.15^土 16^日 17^{月・祝}

青森県立美術館コミュニティギャラリー 展示時間/10:00~18:00 (7月17日のみ 10:00~16:30)

*[16日 14:00~14:30] パフォーマンス リーディング/柳谷暁彦 ウクレレ&トランペット/TK



柳谷の新作はミュージシャン、映画監督、詩人、文学者、思想家、アーティスト、演劇人、そして「言葉」など、柳谷の人間形成に大きな影響を与えたとされる幾多のイメージが、グラフィティ的なタッチのもとに描き出されている。多感な青少年期の記憶をたぐり寄せながら、創作活動の源泉、インスピレーションの起点を探る試みと言えるだろう。

主体の思考や行動を規定する形式的象徴は主体の中にはなく、それは外部(他者)の欲望に他ならない、とかつてラカンが述べた。人間はその存在が欠如した状態でこの世に生を受ける。そして、その欠如を埋めるために他者を参照にして同一化を図っていく。つまり、主体は常に「大文字の他者」の欲望を引き受ける存在と言えるのだ。当然、言語も個々の主体が選択決定できるものではなく、あくまでも他者の所有物に過ぎない。言語を所有しない闇の時代の自己を父や母といった他者の語らいによってしか認識できないことから、言語が他者のものであることは容易に理解できるだろう。記憶の遡行がいつもどこかで闇にぶつかるように、人間はいつも主体のみでは同一化を維持できず、常に「自分探し」は徒労に終わらざるを得ない。つまり自分が何者かということ自身を表明できない以上、自己認識のためには「大文字の他者」の存在が不可欠ということになる。柳谷の作品に立ち現れるイメージは具体的な他者ではあるが、柳谷の意識に溶け込み主体の存在そのものを形づくる超越的な、「大文字の他者」なのである。

記憶の奥底に辿り着くと、いつもそこには「子供」がいる。「ぼくの、じゅうのせかい」という本展のタイトルには、子供が描く絵の自由さに触れることで「粘度物質のような過去の記憶に発火を促し」、「自由な思考を回復させる(「制作ノート」より)」という柳谷の想いが込められているが、その回復された自由な表現は、他者を貶め、排斥し、自らの主義主張だけを押し通す、個の尊重の意味を履き違えた利己的な人間が幅を効かせる現代において、人間が人間として存在するためには他者という言語秩序の中に自己を位置づけていかねばならないこと、さらにそうした主体と他者との関係をどこまでも考えていくことが人間として生きるために必要であることを示唆してくれる。

このように、本連作には柳谷という主体と社会との関係性が「大文字の他者」によって様々に写し出されているが、それら作品をとおして我々もまた超越的なところから「わたし」を見つめる他者の視線に気づくだろう。ジュリア・クリスティヴァは、主体および他者における欠如の部位から流れ込む「欲望」を原動力にして無限に意味が生成されていく過程を「ジェノ・テキスト」と定義したが、その連作がもたらす主体と他者相互の等価的視点も常に何らかの意味を生成し続け、テキストに厚みと深さを与えていく。そこには「わたし」を正しく社会に登録していく「調和」と「安定」のきっかけがひそんでいるのだ。

柳谷が探る「自由な世界(社会)」のイメージは、言語的かつ象徴的であるがゆえに、次々に異なる主体へと転移していく。こうした魔術的な作用が機能するところに、単なる自己探究を越えた柳谷作品の魅力があるように思う。

柳谷暁彦作品展「ぼくの、じゅうのせかい」に寄せて 工藤健志 (青森県立美術館学芸員)

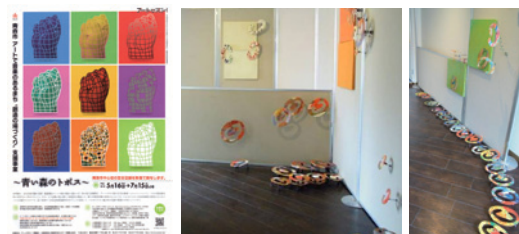
多感な時代に影響を受けたモノたちの記憶、 時間に変形され深化し、現在もひろがりつづける。—— 柳谷暁彦

柳谷暁彦 やなぎや としひこ

- 1963 青森市生
- 1989 NY渡米 <'90帰国>
- 1998 天井棧敷「人力飛行機ソロモン青森編」参加
- 2001 韓国平澤市国際アートフェスティバル出品
- 2015 寺山修司の言葉展 参加

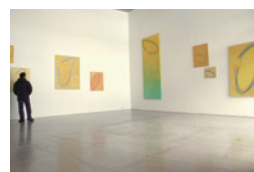


- 2016 アートでオン! 青い森のトポス 参加



■主な個展

- 1987 ギャラリーマヤ 初個展(東京)
- 2001 西衝器製作所ゼフィルス <'04 '05 '06>(青森)
- 2004 アートプロジェクト空間実験室 <'08>(青森)
- 2007 ワークショップ「文字の言葉」国際芸術センター青森
ワークショップ「音の言葉」青森県立美術館
作品展「振動する境界」青森県立美術館 コミュニティギャラリー
- 2013 オープンアトリエ「ギターヒーコウヨ」青森県立美術館
作品展「HPE {{{反映}}」青森県立美術館 コミュニティギャラリー



2007
作品展「呼吸する通路」
国際芸術センター青森



2008 作品展
「Dark was the night - Cold was the ground」
十和田市現代美術館



2010
作品展「LANDS」
青森県立美術館 シアター



2012
作品展「HYAGUDON」
青森県立美術館 コミュニティギャラリー



2014
作品展「RECEPTOR」
青森県立美術館 コミュニティギャラリー



2015
作品展「graffIt!」
青森県立美術館 コミュニティギャラリー



2016
作品展「カゼニナビイテ」
青森県立美術館 コミュニティギャラリー

フェイスブックで作品など
ご覧いただけます。

柳谷暁彦

検索